

# 使い方ガイド

Design is how it works.  
—Steve Jobs

## ファイル構成

```
├─ Makefile
├─ [your_note].md
├─ [your_note].pdf
└─ style.css
```

## Makefile

- このファイルにより, pdf化のための長いコマンドを入力する必要がなくなります.
- シンタックスハイライトは, デフォルトでは github スタイルになっています.  
md-to-pdf の `--highlight-style` オプションは, 内部的に `highlight.js` を用いているため, そのスタイルならなんでも指定できます. (<https://github.com/highlightjs/highlight.js/tree/main/src/styles> を参照.)
- pdfを作成したいときはただ一言, " make ".

## [your\_note].md

あなたの作るノートです.

## ヘッダとフッタの作り方

ヘッダ, フッタを作成できます. 以下は一例です.

```
---
pdf_options:
  displayHeaderFooter: true
  headerTemplate: |-
    <style>
      .header {
        width: 100%;
        padding: 0 20px;
```

```

    font-family: 'Avenir', 'Zen Kaku Gothic New', sans-serif;
    font-style: italic;
    color: #ddd;
    font-size: 11px;
  }
</style>
<section class="header">
  <!-- Your Header -->
  Header
</section>
footerTemplate: |-
<style>
  .footer {
    margin: 0 auto;
    font-family: 'Avenir', 'Zen Kaku Gothic New', sans-serif;
    font-style: italic;
    color: #aaa;
    font-size: 11px;
  }
</style>
<section class="footer">
  <!-- Your Footer -->
  <span class="pageNumber"></span> / <span class="totalPages"></span>
</section>
---
```

[your\_note].pdf

- make コマンドによって得られる, PDF成果物です.

style.css

- このcssファイルをカスタムすることで, 思いのままに文書をスタイリングできます.
- css変数を用いることで, 保守性の高いスタイリングが可能になっています.

以下にCSS変数の概要を示します:

変数	用途
--[色名]-...	パレットカラー
--clr-...	セマンティックカラー
--radius-...	角丸
--space-...	余白
--fz-...	フォントサイズ

--lh-...	行間
--font-...	フォントファミリー
--page-...	ページ設定

---

## Let's Get Started!

これからあなたの番です! 以下の手順で進めましょう:

1. 当Markdownファイルの内容を全て削除する  
[tips] vimをお使いのあなたへ... :%d でファイルの全内容を削除.
2. 何か書く
3. make コマンドを入力してpdfを作成する